



きずな

**トラック協会杯
第26回全道少年団(U-11)
サッカー大会札幌地区予選
第28回札幌市スポーツ少年団
サッカー交流大会**

全道大会進出おめでとう!!

**伏古 FC.DENOVA 伏古北
石狩 FC (A) AFC AGGRE
上江別 Jr クラブフィールズ**

札幌で開かれる全道大会の札幌地区代表を目指して7ブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記7チームが全道大会に進出することになりました。

Aブロック代表決定戦		
8月31日(日)東雁来公園・西G		
伏古		北郷瑞穂
3	2-0 1-0	0

Aブロック決勝は伏古のキックオフで試合が始まり、DFからのロングフィードと⑩のドリブルによって押し気味で試合を進める、一方の北郷瑞穂は守勢に回った。伏古は9分に相手のゴール前へのロングパスを北郷瑞穂のDFがクリア出来ずGKと競ったFW④がヘッドで落とし左足でゴールへ流し込んで先制点を奪った。続けて10分には⑭の縦へのライナー性のパスに⑩がヘッドで合わせ追加点を奪い、このまま前半を終えた。

後半も伏古は前半同様にロングパスと⑩を起点とした攻めを交互に繰り出し、有利に試合を進める。一方の北郷瑞穂は⑦⑫⑤のパス交換で攻めの糸口を探り何度かシュートを放ったが相手DF陣にボール

をはね返された。後半4分に伏古⑩はゴール正面ペナルティーエリア内でつぶれそうになりながらもDFをかわし、すり抜けて左足で丁寧に流し込み勝負を決める3点目を奪った。その後、北郷瑞穂はディフェンスに追われながらもチャンスを作り反撃するが伏古の固い守備に阻まれ、得点を奪えなかった。伏古は終始安定した試合運びで全道大会への切符を得た。

Bブロック代表決定戦		
8月31日(日)東雁来公園・西G		
コンサドーレ札幌U12		FC.DENOVA
1	0-1 1-1	2

Bコート最初の試合はBブロック決勝、コンサドーレのキックオフで前半開始、コンサドーレはボールをチーム全体で保持しながらチャンスをうかがう、開始5分コンサドーレ⑨がペナルティーエリア付近でファーストシュートを放つがゴールを割る事は出来ず。コンサドーレに対し、DENOVAは素早くプレッシャーをかけ続け、徐々に攻撃のリズムをつくり始め8分にDENOVA⑥がペナルティーエリア付近からドリブルで仕掛け、左サイドでフリーとなった②にボールが渡ると、そのままゴール右サイドへ流し込みDENOVAが先制点を奪った。一方コンサドーレも④が左サイドをドリブルで仕掛け、攻撃の流れを戻しに行くがDENOVAの力強い守備に阻まれ、流れを取り戻す事が出来ない、DENOVAは13分に自陣で⑦がボールを奪うと巧みなドリブルでゴールに向かいシュートを放つがGKがセーブする。その後もDENOVAペースでの試合が進み前半が終了。

DENOVAのキックオフで後半開始、後半最初のチャンスはDENOVA、ゴールキックを⑱が

インターセプトシュート、GKの横をボールは転がりゴールに吸い込まれていくが、コンサドーレDFがゴールラインぎりぎりのところでスライディングゴールを守る。後半3分にコンサドーレ⑦が右サイドからクロス、DFが撥ね返すが、素早くコンサドーレがボールを拾い二次攻撃を仕掛けるがDENOVAのプレッシャーにシュートまで持っていく事が出来ない。後半7分にDENOVAがペナルティーエリア付近でFKをもらおうと⑦が壁の間隙を狙い、シュートを放つと待望の2点目のゴール。コンサドーレは後半8分にペナルティーエリア外の左から⑥が力強くシュートを振りぬぎ、ゴール右サイドへ決め1点差と迫るがDENOVAの勢いは止まらず、後半9分にFKをもらおうとキッカーは先ほどゴールを決めている⑦、シュートは左ポストの横を流れて行きゴールならず。その後も攻撃を緩めないDENOVAはアディショナルタイムに⑦がハーフウェーラインからドリブルで持ち込みシュートをするもGKの正面に、試合はそのまま終了し最後までスタミナの落ちなかったDENOVAが全道大会出場を決めた。

Cブロック代表決定戦		
8月31日(日)東雁来公園・西G		
平岡南	石狩FC (A)	
0	0-1 0-3	4

平岡南のキックオフで前半開始、立ち上がり数分はロングパスからのボールがゴール前に運ばれ平岡南に数度のチャンスがあったが得点出来なかった。一方の石狩FCも⑰⑨がドリブルで攻め上がるなどお互いにチャンスはあった。石狩FCが左右にボールを動かして、次第にポゼッションが高まった2分に、右サイドからのスルーパスを⑰がコントロールしてDF裏へ抜け出し、落ち着いたゴールに流し込み先制のゴール。石狩FCがボールを支配する中、平岡南は前線からの早いチェックでボールを奪ってカウンターを仕掛けるも得点出来ないまま前半を終えた。

後半に入って平岡南は疲れが出たか、石狩FCがより一層ボールを支配する時間が長くなり、相手陣地の中央、左右とボールを回した。後半3分には

競り合いで相手DFからこぼれたボールを石狩FC⑱が素早くシュートし、GK頭上を越えてゴールに吸い込まれ2点目。後半5分に⑲がDF裏に抜け出し3点目、さらに、終了間際の後半13分に⑲のCKを⑳がヘッドで合わせ4点目を奪った。平岡南はボールを果敢に追い、⑧⑩を中心にカウンターを狙うも相手DFにはね返された。ポゼッションの差がそのまま結果につながり、石狩FCが全道大会へ駒を進めた。

Dブロック代表決定戦		
8月31日(日)東雁来公園・西G		
西野第二	伏古北	
0	0-1 0-0	1

伏古北のキックオフで試合開始、先にペースをつかんだのは西野第二、5分に⑪がドリブルで攻め込んで⑫へパスを繋いだがシュートは打てず。⑪を中心に何度かゴール前へ攻め込むが、伏古北の粘り強い守備をなかなかくずせない、9分に伏古北ペナルティーエリア内でのファールで西野第二がPKを得る。西野第二は先制点のチャンスを得て⑪がゴール右へ蹴るが、伏古北のGKがナイスセーブで先制のチャンスをものに出来ず。その後も西野第二が押し気味に試合を進めるが、伏古北の固いディフェンスに阻まれる。拮抗した試合の中で13分に伏古北の⑨がクリアしたロングボールが西野第二のGKの頭上へ、GKがキャッチするもゴールラインを割り伏古北が押され気味ではあったが、待望の先制点を入れてそのまま前半は1-0で終了。

西野第二のキックオフで後半開始、2分に西野第二はCKから⑩へ繋ぎドリブルでバイタルエリアに入るが、ここも伏古北⑨を中心としたディフェンス陣に阻まれ、なかなかシュートまで打てず、西野第二の攻めは続き後半5分に⑪のドリブルからシュートを打つが、ゴール左に外れる。伏古北も固い守備からカウンターで⑫にボールを集めるが、なかなかシュートまで持っていけない。西野第二は⑪⑫のパス交換とドリブルで攻め込むが、伏古北の守備を崩せず。後半8分にも⑩がドリブルから切れ込んでシュートを打つが、伏古北GKのナイスセーブで得点出来ず。後半11分に伏古北はゴール前20m付

近でFKを得て、こぼれ球を⑪がシュートを放つが枠をとらえる事が出来ず。西野第二は⑪を中心に最後まで攻め続けるが、伏古北が⑨を中心に粘り強い全員守備で最後までゴールを守り続け、試合終了のホイッスルが鳴り響き伏古北が全道大会へ駒を進めた。

Eブロック代表決定戦		
8月31日(日)東雁来公園・西G		
上江別 Jr.FC	藻南 FC	
5	4-0 1-0	0

藻南のキックオフで試合開始、上江別はボールをつなごうとするも藻南の早くて一生懸命なプレスで思うように攻められない。藻南はボールを奪い、迷わずDF裏へのロングパスでチャンスをうかがうという構図の序盤となった。試合が動いたのは5分、上江別は個の力で相手ディフェンス陣をこじ開けた。ペナルティーエリア内でドリブルを仕掛けた⑥が倒されPKを得て、これを⑧が落ち着いて決めた。この後は上江別のペースとなりパスとドリブルで仕掛け、8分にはパス交換から⑤が2点目を、9分にはGKからのロングキックが相手GKの頭上を越え3点目を、さらに10分には⑩がDF裏に抜け出し決定的な4点目を奪った。

後半も上江別が藻南陣地で試合を進めたが、藻南は⑪⑥のドリブルと⑩②③の高い位置でのプレスでボールを奪い、何度か得点機を作ったが、守備でも高い能力を見せた上江別にゴールを阻まれた。後半は拮抗していたが、終了間際の後半14分に、上江別は⑥からのDF裏へのスルーパスが絶妙に抜け出した⑧に通り5点目を奪った。藻南は後半は善戦したものの結果としては危なげなくゲームを進めた上江別が勝利を収めた。

Fブロック代表決定戦		
8月31日(日)東雁来公園・西G		
クラブフィールズ	LAVORO	
2	0-0 0-0 延前0-0 延後2-0	0

続々と代表が決まり、熱気が高まるFブロック決勝はLAVOROのキックオフで試合開始、立ち上

がりからお互いに厳しいディフェンスでボールの収まり所を消しあう。5分に最初のチャンスはLAVORO、CKを⑦がフリーで合わすがボールはクロスバーの上を通過する。10分フィールズが⑭⑰⑱の連携でゴールに迫るがシュートで終れず、徐々にLAVOROがセカンドボールを拾い始めチャンスを作る。11分のLAVOROのFKのチャンスもGKの正面。フィールズファーストシュートは、13分にFKのチャンスから⑱が合わしシュートを放つがGKの正面、その後もLAVOROがシュートを打つがフィールズDFのブロックに跳ね返される。互いに決定機を作れず前半を終了。

後半はフィールズのキックオフで開始、前半同様お互いに素早いプレッシャーをかけ続ける。後半3分にフィールズのCKを⑳が合わすがボールはゴールバーの上へ、後半4分にLAVOROのFK、フィールズの背後を狙うがフィールズGKが対応する、後半8分にLAVORO⑪が左サイドをドリブルで攻め上がり、横パスを受けた⑨がゴールに迫るがフィールズDF陣を崩せず、後半10分にフィールズは⑲のスルーパスに㉑が反応しシュートまで行くが、GKがブロックしゴールを割らせない、後半終了間際までフィールズが攻め立てるが決定機を作れず。LAVOROも攻撃の糸口を見つけられず0-0のまま延長戦に突入し、延長前半はフィールズのキックオフで開始、⑱⑲⑭㉑とボールを動かしてチャンスをうかがう、LAVOROは⑪のドリブルで相手陣地に攻め込むが得点の動きのないまま延長前半の3分が終了。そして延長後半3分が始まると開始20秒でフィールズ㉑がハーフウェーラインからドリブルでペナルティーエリア左に持ち込み、ゴールポストとGKの間を通す豪快なシュートが決まる。ゴールを奪いにいかないといけないLAVOROは前線に早くボールを送り⑩⑨と立て続けにシュートを放つ、その後もLAVOROのシュート数が増えて行く中で、試合終了間際フィールズのCKのチャンスを得て、フィールズ㉑と相手DFが競り合い、相手DFに当たったボールがそのままゴールへ、フィールズが2点目を奪い取り試合終了。お互いの良さを消しあったタフな試合を制したクラブフィールズが全道大会出場の切符を勝ち取った。

Gブロック代表決定戦

8月31日(日)東雁来公園・西G

FC.TIPS

AFC AGGRE

0

0-3
0-0

3

Gブロック決勝はAGGREのキックオフで前半開始、TIPSの好守もあって互いに出方をうかがうような静かな立ち上がりとなった。次第にTIPSサイドでのプレー時間が長くなった3分、左のCKを得たAGGREは、⑩が狙いすまして蹴ったキックが空中で巻いてGKの手を弾いて右サイドネットに突き刺さり先制点をあげる。その後もAGGREの攻勢が続き、6分に右サイドを駆け上がったAGGRE⑨がシュート。GKが弾いたボールを①がゴールへ押し込み2点目。さらに9分にはゴール前の競り合いからこぼれたボールをAGGRE⑩が拾いシュートをゴール左上隅に放ち、決定的な3点目を奪う。TIPSは守備に追われて反撃出来ずに前半を終了した。

後半は反撃に出たいTIPSが積極的に攻め込んだが、AGGREの早いプレスに攻めあぐんだ。互いに責め合うも決定機をつくれず時間が進んだ。後半11分にはAGGREのDFの一瞬の間隙についてTIPSが決定的なシュートを放つもゴールの枠を外れて点を奪えず、その後もあきらめずに攻めたが、やはりAGGREのプレスに押し戻されそのままゲームは終了。試合を振り返ると前半に得点を重ねたAGGREが終始有利に試合を進め、全道大会への切符を手にした。

全道大会の結果は、道協会HPをご覧ください。